

2008年5月

## しょうがっこうをおくる会 様 プラン特別プロジェクト ネパール マクワンプルにおける小学校建設プロジェクト 中間報告書

### 1. プロジェクトの概要

ネパールの首都カトマンズの南に位置するマクワンプル県では、90.1パーセントの人々が農業に従事していますが、農業生産高は低く、人々は苦しい生活を送っています。教育に関しては、近年増加する生徒数に対し、教育施設や設備が不足しているほか、教員の数・質ともに不十分で、適切な教育サービスを提供することができません。学校では、1クラスあたり平均60人の生徒が狭い教室で授業を受けており、給水設備やトイレ、図書室、運動場が整っていないことがほとんどです。

プラン・ネパールのマクワンプル活動地域が管轄するシュリー・セティ・デビ小学校も、教育環境の不備に悩む学校のひとつです。小学校はティンガン9区という村にあり、近隣の2村からも子どもたちが通っていますが、学校が遠いために通学をあきらめてしまう子どもたちもいます。特に、家庭の水汲みや農作業などの手伝いを任される女の子たちにその傾向が顕著です。学校には現在5教室がありますが、どれも10平方メートルほどの小さな部屋で、最低限必要な広さの半分も満たしていません。子どもたちは、狭く換気の悪いこれらの教室に詰め込まれるようにして座っており、授業に集中することが困難です。

このような状況を改善するために、このプロジェクトでは、シュリー・セティ・デビ小学校に約30平方メートルの教室6室を建設します。このプロジェクトの実施により、この小学校に通う先住民族であるタマン族200人の子どもたちが適切な環境で授業を受けられるようになります。

### 2. プロジェクトの進捗状況

プロジェクトは2007年12月に開始後、ネパール国内で頻発しているストライキや議会選挙の影響で、遅延を余儀なくされたものの、現在までに、以下の活動を実施しました。